

2025年 6 月 23 日

報道関係各位

京都産業大学 広報部

京都産業大学ギャラリー 企画展「なごころとめいしよー和歌から洛外図までー」 「言葉からひもとく歴史と文化ー京の地名が語るものー」 企画展関連講演会のご案内

京都産業大学ギャラリーでは、2025年5月1日から、京都産業大学創立60周年記念・第29回企画展「なごころとめいしよー和歌から洛外図までー」を開催しています。この関連企画として、京都産業大学外国語学部・玉村 禎郎教授による講演会「言葉からひもとく歴史と文化ー京の地名が語るものー」を開催します。

京都に暮らした人々は、この地をどのように見つめ、どのように営んできたのでしょうか。本講演は地名や名所に込められた言葉を分析し、原風景や都の風景をよみがえらせます。言葉・歴史・地理・文学に関心のある方にとって、非常に興味深い内容です。ぜひ取材いただき、広く紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【本件のポイント】

- ・京都出身の日本語学者・玉村教授による講演では、地名は単に土地と土地を区別するための手段ではなく、土地の有様を今に伝える証人でもあることを実感していただけます。言語学的な手法によって地名を読み解き、そこからかつての風景をよみがえらせます。
- ・日本は、久しく文字をもたなかった時代から、漢字を輸入し記録する時代へ、さらに仮名を生み出し表現する時代へと大きく舵を切ってきました。いつの時代にもあった地名、人々はそのような地名をどのように継承してきたのでしょうか。表記法が定まっている現代の人には考え及ばぬことが多々ありました。今回の講演会では、そのような世界を垣間見ながら、地名継承の問題や地名に馳せる思いなどについても考えます。
- ・人々を魅了してきた京都の名所は、時に和歌に詠まれ、時に説話の舞台にもなってきました。数々のドラマを生んだ京都の名所を取り上げる本講演会および企画展は、地名を手がかりに魅力を浮き彫りにします。

【講演会】「言葉からひもとく歴史と文化」ー京の地名が語るものー

講師：玉村 禎郎氏（京都産業大学外国語学部教授）

日時：2025年6月28日（土）13:30～15:00（開場13:00）

場所：むすびわざ館ホール

定員：200名（事前申込制・先着順）

参加費：無料。申し込みは、京都産業大学Webサイトのイベント一覧から。

企画展「なごころとめいしょー和歌から洛外図までー」

- ・開催期間 2025年5月1日(木)～7月5日(土)
- ・開催時間 10:00～16:30 ※水曜のみ13:00～16:30(入館受付16:00まで)
- ・休館日 日曜・祝日
- ・場所 京都産業大学ギャラリー(京都市下京区中堂寺命婦町1-10 むすびわざ館2階)
- ・入館料 無料
- ・主催 京都産業大学ギャラリー
- ・協力 宇治市歴史資料館、京都産業大学図書館、京都府立京都学・歴彩館

※ご取材いただける場合は大変お手数をおかけいたしますが、取材前日の16時までに
広報部まで連絡をいただきますよう、お願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

内容について: 京都産業大学 むすびわざ館事務室 TEL:075-277-0254

取材について: 京都産業大学 広報部 TEL:075-705-1411

京都産業大学創立60周年記念
京都産業大学ギャラリー第29回企画展

めいしよと などころ
名所

— 和歌から洛外図まで —

①(洛外図展)(二条大橋)
(京都産業大学図書館蔵)

2025年
5月1日(木)～7月5日(土)

前期:5月1日(木)～6月3日(火)
後期:6月5日(木)～7月5日(土)

入場無料

京都産業大学ギャラリー

京都市下京区中堂寺命婦町1-10 京都産業大学正生校地むすびわざ館2階
[月・火・木～土]10:00～16:30 [水]13:00～16:30
(入館受付は16:00まで)

※日曜、祝日は休館。但し、5月3日(土・祝)、5月4日(日・祝)は開館。
[10:00～16:30(入館受付は16:00まで)]

※6月4日(水)は展示替えのため休館。
※6月7日(土)は講義開催のため12:00以降休館(入館受付は11:30まで)。

主催:京都産業大学ギャラリー
協力:宇治市歴史資料館、京都産業大学図書館、京都府立京都学・歴影館

関連イベント

担当学芸員による展示解説
6月7日(土)13:30～14:45(開場13:00)
講師:三木 沙友理(京都産業大学ギャラリー学芸員)

言葉からひもとく歴史と文化-京の地名が語るもの-
6月28日(土)13:30～15:00(開場13:00)
講師:玉村 慎郎 氏(京都産業大学外国語学部教授)
※詳しくは要旨をご覧ください。

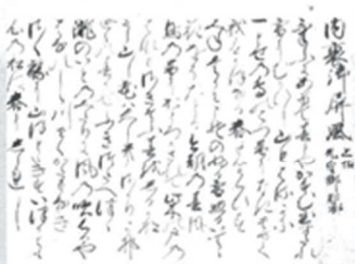
Be Innovative.
京都産業大学

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

京都産業大学創立60周年記念・京都産業大学ギャラリー第29回企画展

などころとめいしょ — 和歌から洛外図まで —

京都といえば名所を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。「名所」は「などころ」とも読まれ、和歌に詠まれる歌枕を指す言葉としても知られています。歌枕としての「などころ」は、長い間くりかえし歌に詠まれることで特定のイメージを獲得し、実際にその場に訪れたことがなくとも思い浮かべることができる“あこがれの地”の風景でもありました。近世に入って庶民の間で旅が流行し、実際に行き体験する場所として「めいしょ」が定着した後も、一度は行ってみたい“あこがれの地”として名所は親しまれています。国内でも有数の名所を抱える京都には、市街・郊外の名所を取り上げた和歌や名所案内記などが多く伝わっています。本展では、京都産業大学図書館が所蔵する『万葉集撰要佳詞』（室町時代前期）や『西行法師絵物語』（江戸時代）、「洛外図屏風」（江戸時代後期）など、京都の名所にかかわる資料を公開します。



②『内裏御屏風和歌』（京都産業大学図書館蔵）



③『西行法師絵物語』巻三（京都産業大学図書館蔵）

関連イベント

講座

担当学芸員による展示解説

講師：三木 沙友理（京都産業大学ギャラリー学芸員）

日時：6月7日（土）13:30～14:45（開場13:00）

場所：京都産業大学ギャラリー展示室 定員：20名（事前申込制・先着順）

申込方法

京都産業大学公式Webサイトのインターネット申込みフォームより申込みください。申込期間にかかわらず、定員に達した時点で受付を終了します。応募の際にご提供いただきました個人情報、イベント以外の目的では使用いたしません。

申込期間

講座 5月1日（木）10:00～6月5日（木）16:00 講演会 5月1日（木）10:00～6月26日（木）16:00

講演会

言葉からひもとく歴史と文化
— 京の地名が語るもの —

講師：玉村 禎郎 氏（京都産業大学外国語学部教授）

日時：6月28日（土）13:30～15:00（開場13:00）

場所：むすびわざ館ホール 定員：200名（事前申込制・先着順）

【交通案内】

- ◎丹波口(JR) 徒歩7分 ◎大宮(阪急) 徒歩11分
- ◎四条大宮(京福) 徒歩11分
- ◎市バス(大宮松原または五条壬生川) 徒歩5分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際は公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

【問合せ先】

京都産業大学むすびわざ館事務室（平日 9:00～16:30）

TEL 075-277-0254 FAX 075-277-1699

Webサイト <https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/index.html>

